

第8回 奈良の生物多様性に関する意識調査

○実施期間 令和7年10月15日～10月21日

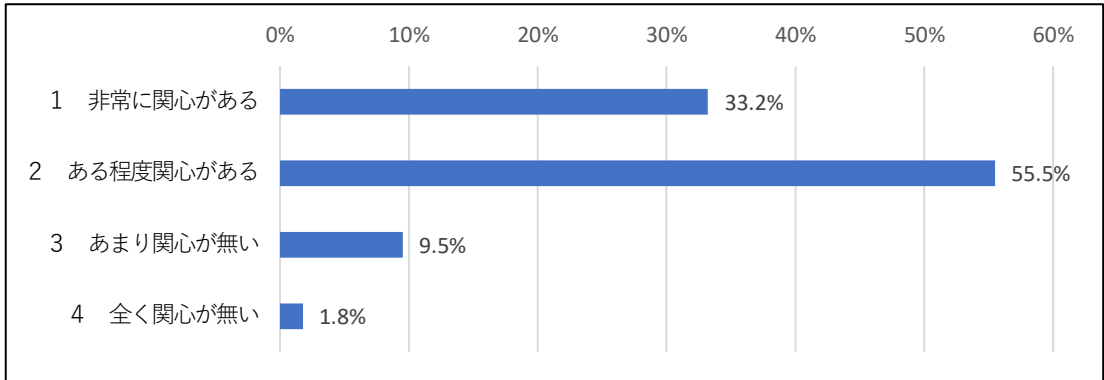
○アンケート会員数 334名 回答者数 283名(84.7%)

○奈良県では、令和7年1月に「生物多様性なら戦略」を改定しました。本戦略では、「生物多様性の主流化」(人々の生活や様々な社会経済活動において、生物多様性の保全と持続可能な利用に配慮することが当たり前の社会を目指すこと)を第1の目標としております。そこで皆様の生物多様性への意識や認知度等について、現状を把握するためアンケートを実施し、今後の取組に活用したいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

(グラフ内スペースの関係から、選択肢の全文が表示されないことがあります。左の表でご確認ください。)

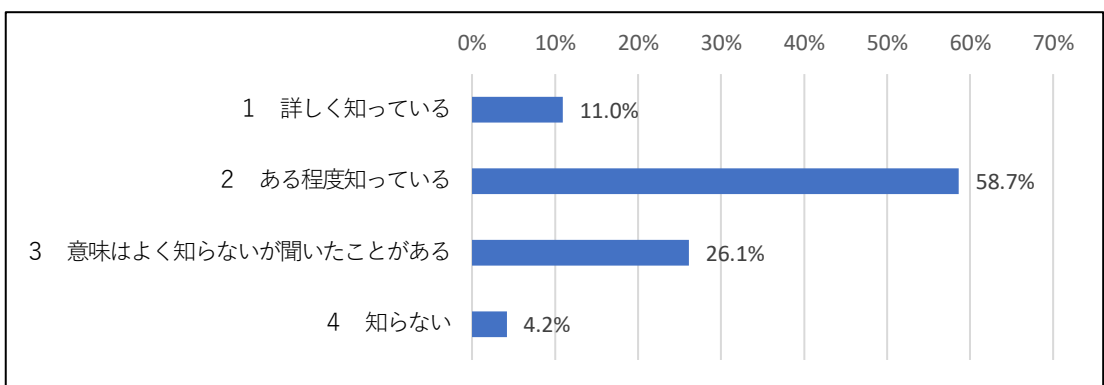
問1 奈良県の自然にどの程度関心がありますか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 非常に関心がある	94	283	33.2%
2 ある程度関心がある	157		55.5%
3 あまり関心が無い	27		9.5%
4 全く関心が無い	5		1.8%
総計	283		100.0%



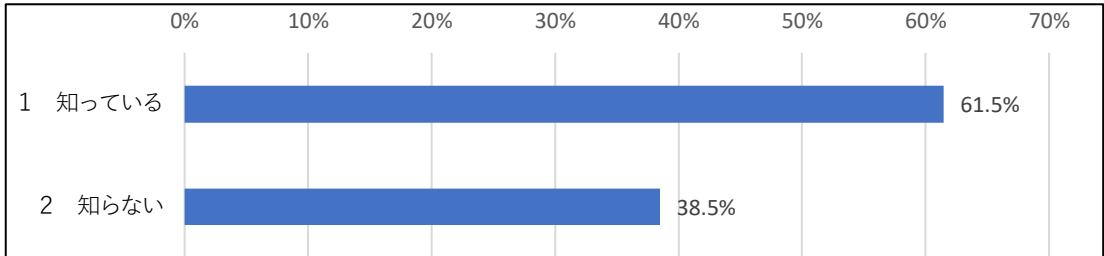
問2 「里山」という言葉を知っていますか。※里山とは、都市と深山(原生的な自然)との中間に位置し、集落や農地、ため池、草原、そして人の手で管理されてきた森林などで構成される、人と自然が共存する環境のことです。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 詳しく知っている	31	283	11.0%
2 ある程度知っている	166		58.7%
3 意味はよく知らないが聞いたことがある	74		26.1%
4 知らない	12		4.2%
総計	283		100.0%



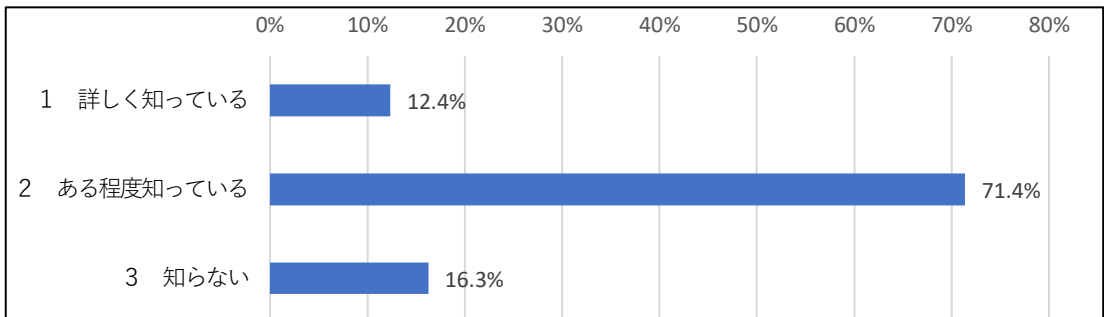
問3 「里山」の面積が年々減少していることをご存じですか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 知っている	174	283	61.5%
2 知らない	109		38.5%
総計	283		100.0%



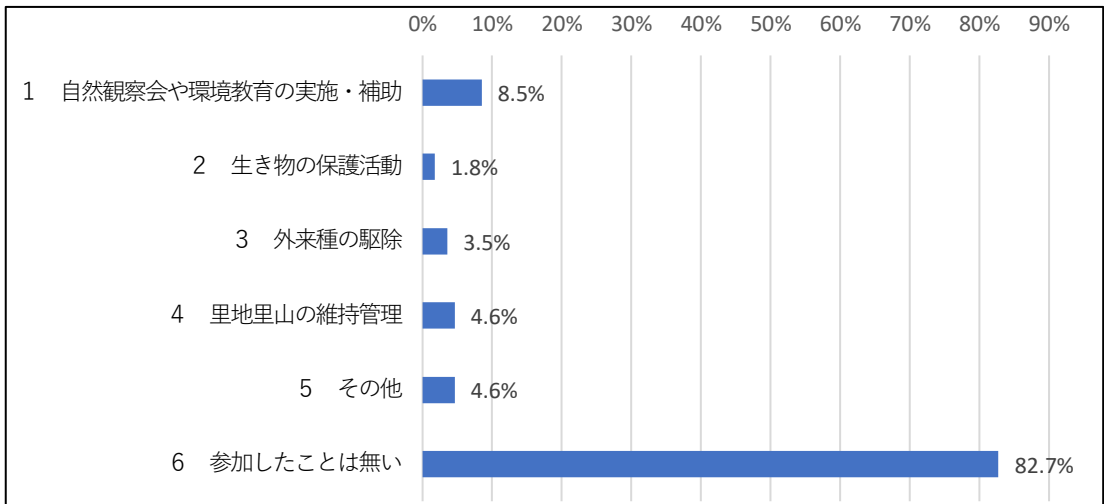
問4 「里山」が生き物の宝庫であることをご存じですか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 詳しく知っている	35	283	12.4%
2 ある程度知っている	202		71.4%
3 知らない	46		16.3%
総計	283		100.0%



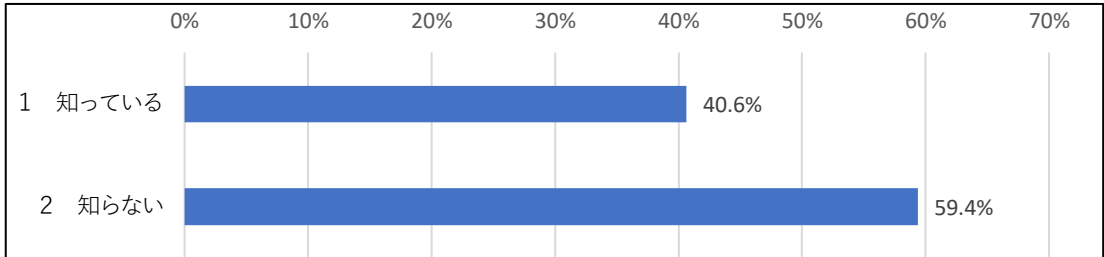
問5 自然環境保全ボランティアに参加したことがありますか。(当てはまるものをいくつでも)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 自然観察会や環境教育の実施・補助	24	283	8.5%
2 生き物の保護活動	5		1.8%
3 外来種の駆除	10		3.5%
4 里地里山の維持管理	13		4.6%
5 その他	13		4.6%
6 参加したことは無い	234		82.7%
総計	299		



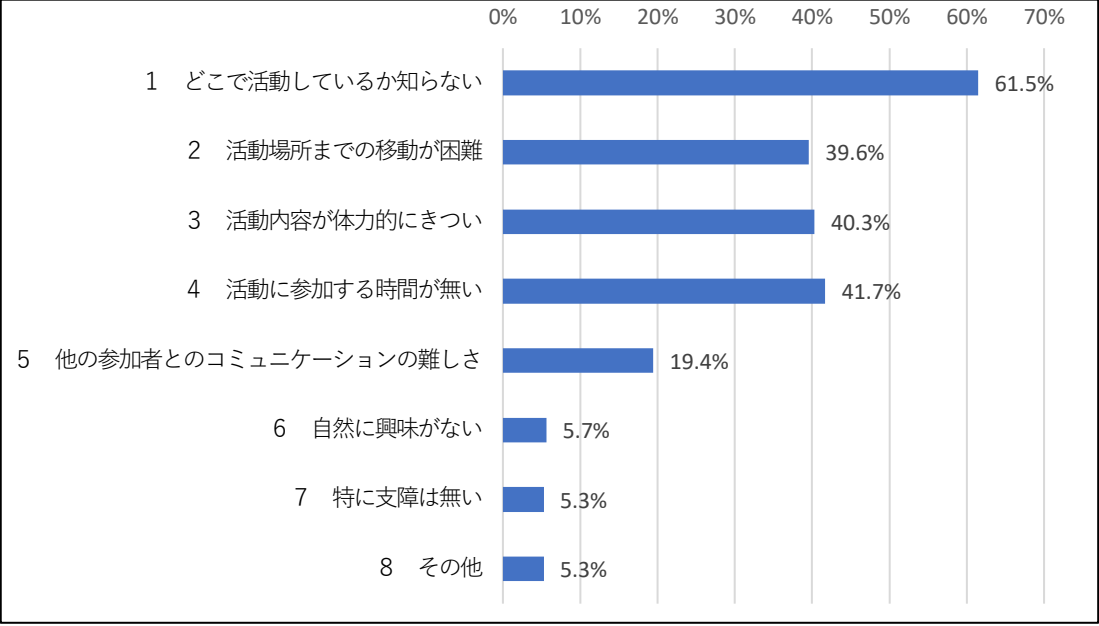
問6 自然環境保全ボランティアの人手や後継者が不足していることをご存じですか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 知っている	115	283	40.6%
2 知らない	168		59.4%
総計	283		100.0%



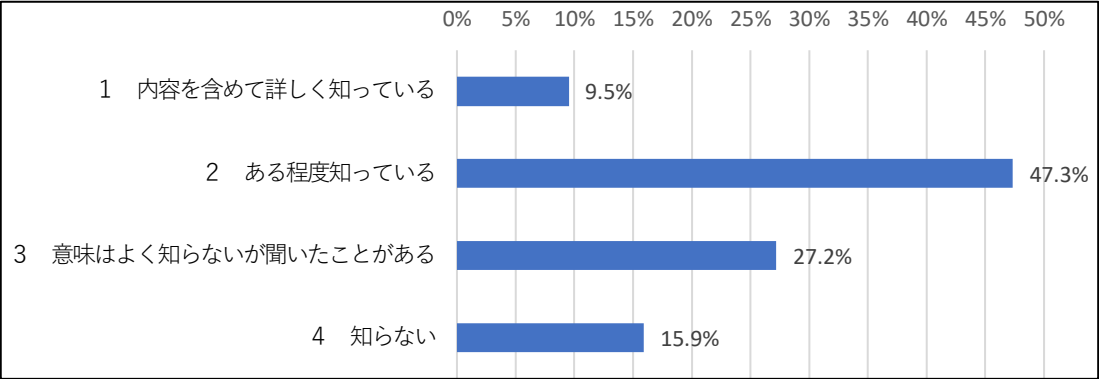
問7 自然環境保全ボランティアへの参加にあたって支障となる(なっている)ことを教えてください。(当てはまるものをいくつでも)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 どこで活動しているか知らない	174	283	61.5%
2 活動場所までの移動が困難	112		39.6%
3 活動内容が体力的にきつい	114		40.3%
4 活動に参加する時間が無い	118		41.7%
5 他の参加者とのコミュニケーションの難しさ	55		19.4%
6 自然に興味がない	16		5.7%
7 特に支障は無い	15		5.3%
8 その他	15		5.3%
総計	619		



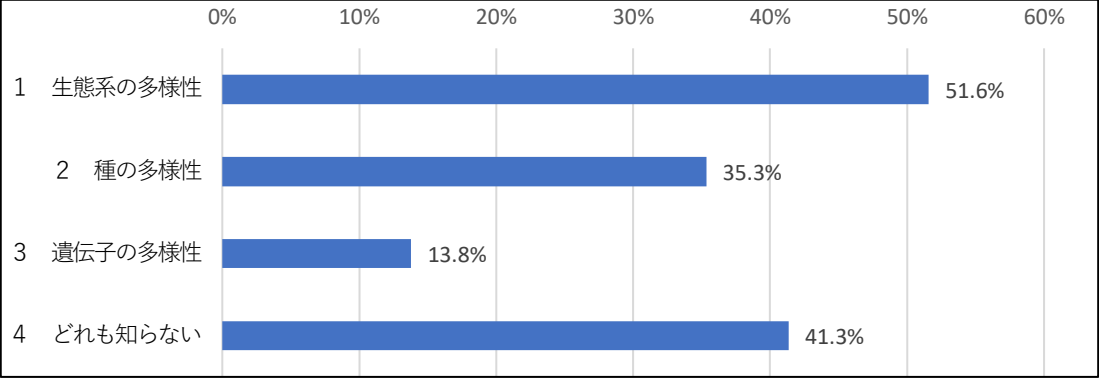
問8 「生物多様性」という言葉をご存じですか。※生物多様性とは、様々な環境における多種多様な生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 内容を含めて詳しく知っている	27	283	9.5%
2 ある程度知っている	134		47.3%
3 意味はよく知らないが聞いたことがある	77		27.2%
4 知らない	45		15.9%
総計	283		100.0%



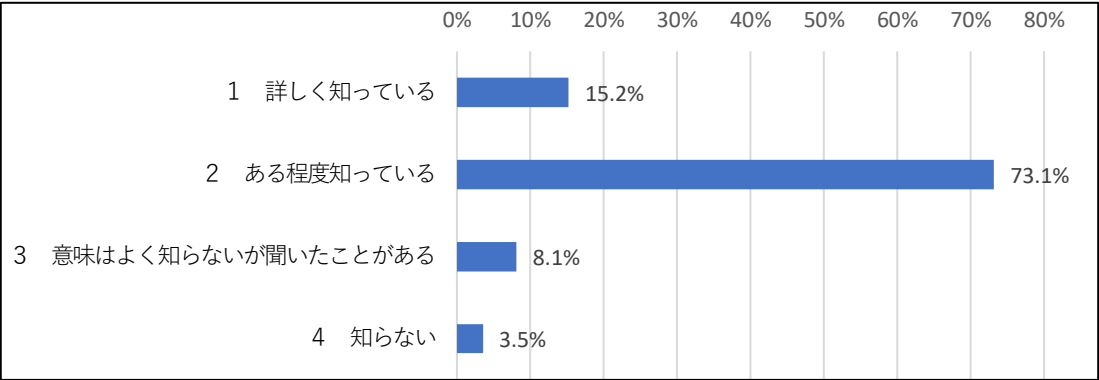
問9 生物多様性には「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」の3つがあります。どれをご存じですか。(当てはまるものをいくつでも)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 生態系の多様性	146	283	51.6%
2 種の多様性	100		35.3%
3 遺伝子の多様性	39		13.8%
4 どれも知らない	117		41.3%
総計	402		



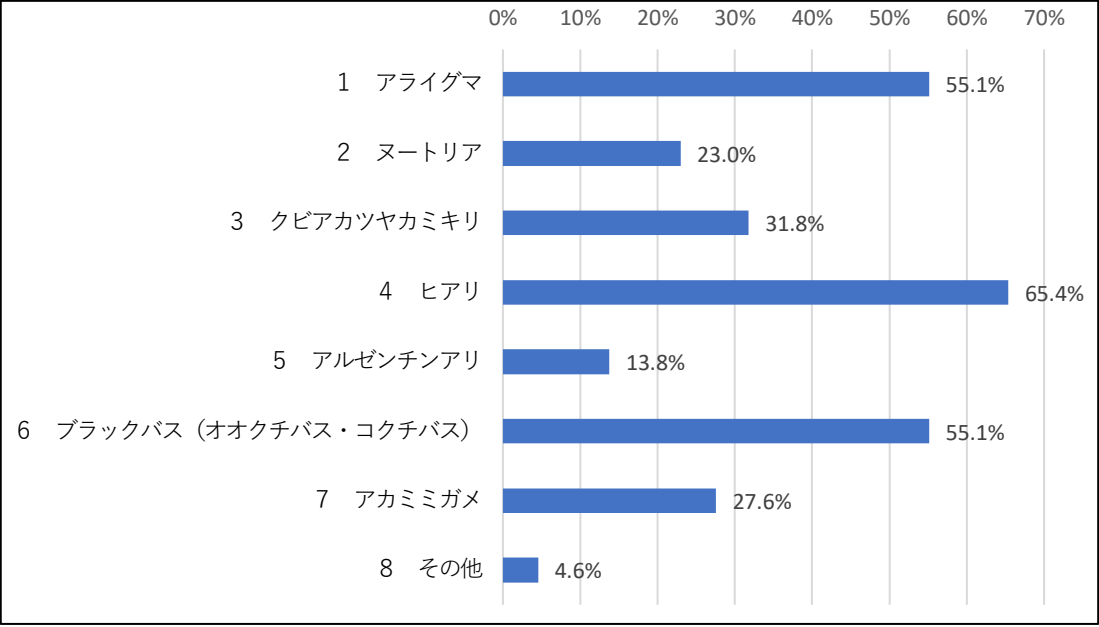
問10 「外来種」、「外来生物」と言う言葉をご存じですか。※外来種とは、元々その地域にいなかった生き物で、人間の活動によって他の地域から入ってきた生き物です。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 詳しく知っている	43	283	15.2%
2 ある程度知っている	207		73.1%
3 意味はよく知らないが聞いたことがある	23		8.1%
4 知らない	10		3.5%
総計	283		100.0%



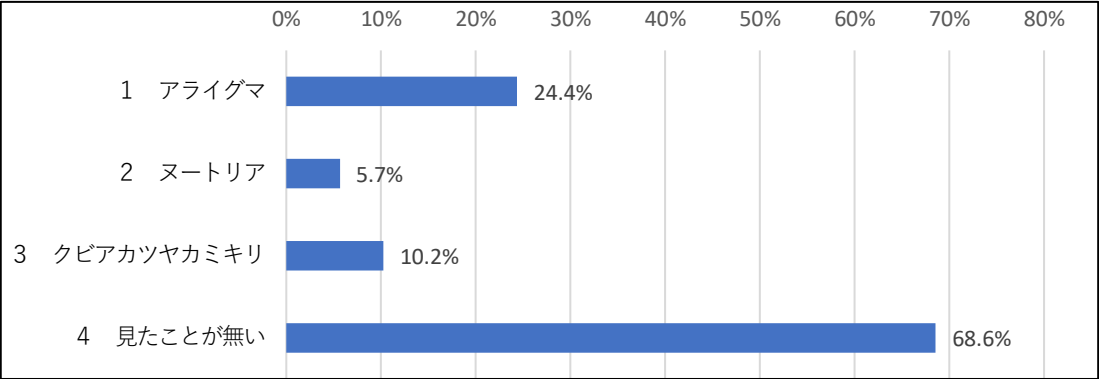
問11 次の生き物たちは外来種です。現在、もっとも問題と感じる外来種を3種類選んでください。(当てはまるものを3つまで)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 アライグマ	156	283	55.1%
2 ヌートリア	65		23.0%
3 クビアカツヤカミキリ	90		31.8%
4 ヒアリ	185		65.4%
5 アルゼンチンアリ	39		13.8%
6 ブラックバス(オオクチバス・コクチバス)	156		55.1%
7 アカミミガメ	78		27.6%
8 その他	13		4.6%
総計	782		



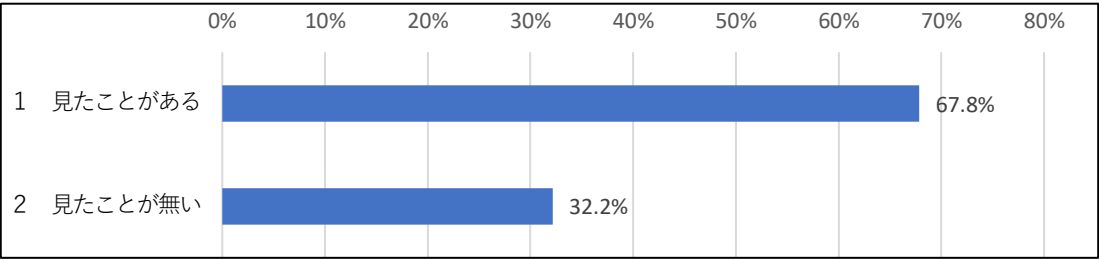
問12 次の外来種のうち、奈良県内で1年以内に実際に見たことのある生き物を全て選んでください。(当てはまるものをいくつでも)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 アライグマ	69	283	24.4%
2 ヌートリア	16		5.7%
3 クビアカツヤカミキリ	29		10.2%
4 見たことが無い	194		68.6%
総計	308		



問13 環境に配慮して製造・生産された製品やサービスに付けられるエコラベル(エコマーク、FSC認証マークなど)を見たことがありますか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 見たことがある	192	283	67.8%
2 見たことが無い	91		32.2%
総計	283		100.0%



問14 商品を選ぶ基準として、環境に配慮した商品かどうかを考慮しますか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 できるだけ環境に配慮した商品を選ぶ	45	283	15.9%
2 環境に配慮した商品を選ぶことがある	147		51.9%
3 環境に配慮した商品は選ばない	5		1.8%
4 特に気にしていない	86		30.4%
総計	283		100.0%

